

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
4	角田 展子	使用教科書「改訂版 詳説 世界史」 (山川出版社)
必履修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		補助教材 「グローバルワイド 最新世界史図表」 (第一学習社) 「新しい世界史 チェック&チャレンジ」 (山川出版社)

◆学習の目標

- ・世界の歴史を総合的に理解させ、歴史的な見方・考え方を育て、国際社会に主体的に生きる公民としての資質を養う。
- ・各地域世界の成立過程について深く学習してその特徴を知り、現代の各地域や諸国の歴史的・文化的背景を理解させることを重要な目標とする。
- ・大学への進路実現を目指し、受験に対応できる学力を培う。

◆主な学習内容・方法

- (1) 教科書第1～9章
- (2) 教科書と授業プリントを中心教材として、随時副教材を使用しながら世界史の古代から中世史と近代史を、主として講義形式で学習する。

◆到達目標と評価の観点

- [標準]
- ・原始～近世の歴史的諸事象を、時間・空間を軸に理解し、把握する。
 - ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現する。
- [応用]
- ・世界の一体化する以前の諸地域の特質を理解し、現代における諸文化の理解の一助とする。
- [評価の観点]
- 「知識・理解」「資(史)料活用力・的確で簡潔な表現力」「思考力・判断力」を評価する。

◆評価の方法

評価は定期考査、校内学力テストの結果を中心とし、課題等の提出物、毎回の授業に対する意欲、歴史に対する興味・関心等を加味する。

◆年間予定授業時間

予定時数	140時間	1学期 (52時間)	2学期 (56時間)	3学期 (32時間)
------	-------	-------------	-------------	-------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> ・予習…教科書を事前に通読する。教材プリントを行う。 ・復習…板書ノートと教科書・「グローバルワイド 最新世界史図表」等を関連させて、整理する。 ・課題…演習プリントを適時行う。 ・その他…補習や夏季補習も授業と関連させて、活用することを勧める。
--

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	古代オリエント世界	1 0	メソポタミア 小アジア エジプト 東地中海世界の統一	・オリエント諸民族の 興亡とイラン文明 について理解で きる。 ・エーゲ文明とギリシ ア文明の世界的意 義を理解できる。 ・ローマ帝国の盛衰と 世界史的意義を説 明できる。 ・キリスト教成立の背 景とその影響を理 解できる。 ・イスラーム教の成立 と発展の過程を理 解できる。
	5	ギリシア世界	1 0	エーゲ文明・ポリスの盛衰 ヘレニズム時代	
		ローマ世界	1 0	共和政ローマ・帝政ローマ キリスト教の成立と発展	
	6	イスラーム世界	1 0	イスラーム帝国の成立 イスラーム世界の発展	
	7		1 2		
2 学期	8	ヨーロッパ世界の 形成と発展	3 0	東西ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ世界の変容	・中世ヨーロッパ世界 の形成過程を説明 できる。 ・東欧と正教会の盛衰 を理解できる。 ・十字軍と中世都市の 発展、封建社会の変 容を表現できる。 ・ヨーロッパ世界の拡 大の世界的意義を 説明できる。 ・ルネサンスや宗教改 革の相互の関連や 歴史的意義を理解 できる。 ・主権国家体制の形成 の現代につながる 問題について表現 できる。
	9	近世ヨーロ ッパ世界 の形成	2 6	ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス 宗教改革	
	10			主権国家体制の形成	
	11				
	12				
3 学期	1	大学入試問題演習	3 2	大学入試問題の演習	・大学入試問題を解 き、論述問題など を多面的、多角的に表 現できる。
	2				
	3				